

令和5年度 第2回在宅医療・介護関係者研修会について(案)

- 1 目的:～切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築～
地域の医療・介護関係者の協力を得て、グループワーク等を通じ、共通理解と情報共有に努め、多職種連携を推進するために研修会を実施する。
- 2 日時:令和6年1月17日 (水) 午後7時～9時
- 3 場所:鷺宮総合支所4階 407・408 会議室
- 4 定員:80名(予定)
- 5 対象者:医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員、訪問介護員、保健所職員、在宅医療サポートセンター看護師、地域包括支援センター職員、病院相談員等

6 内容:

第1部 「身寄りのない高齢者の対応を考える」

社会福祉士の立場から、「後見人制度と身元保証人の違いや意思決定支援の話など(案)」(50分)

埼玉県社会福祉士会

〇〇 〇〇 氏

第2部 グループワーク(45分) 発表(15分)

テーマ「それぞれの立場でできることを考える」(仮)

総合司会 新井病院 院長 関谷 栄先生

7 グループワーク:

班分けについては1グループ10人とし、10グループの班に分ける。

各グループに多職種が配置されるよう、以下のように参加者人数を事業所ごとに割り振りする。

	医師	歯科 医師	薬剤 師	訪問 看護	居宅	訪問 介護	サポ セン	保健 所	包括	病院 相談 員
事業 所数			40		30	22	1	1	5	10
参加 人数	10	10	16	6	30	6	0	1	10	3

※FAX による申込とする。

タイムスケジュール(案)

時間	進行状況
18:30	受付
19:00	開会
19:01	挨拶
19:05 (50分)	第1部 「後見人制度と身元保証人の違い、意思決定支援の基本的な考え方(仮)」
19:55 (5分)	質疑応答
20:00 (40分)	第2部 グループワーク テーマごとにグループワークを行います。 まず、司会、書記、発表者を決めてください。 一言ずつ意見を言ってください。ほめてください。 ●テーマ 「それぞれの立場でできることを考える(仮)」 ・周知等 ・専門職など
20:40 (20分)	発表 できるだけ 10グループ 全員に一言ずつ
21:00	アンケート記入 閉会

配布資料

- ① 意思決定支援の基本的な考え方～だれもが「私の人生の主人公は、私」～(仮)
- ② ご本人らしい生き方にたどり着く意思決定支援のために(仮)
- ③ 講師資料